



『殻をもたない貝-アメフラシー』

葛西臨海水族園 浅野 晃良

アメフラシはアマモ場や磯でみられるウミウシの仲間、大きさは15cm程度ですが30cmを超えることもあります。アメフラシの名は「雨降らし」からきています。この由来には、つつくと紫色の汁を出し、水の中で広がる様子が、空に雨雲がみるみる広がっていく様子に似ているからという説や、雨が降ると岩場にアメフラシが集まるからという説などがあります。後段の説については、アメフラシが産卵のために岩場に集まってくる時期が、ちょうど梅雨であることと関係があるかもしれません。

アメフラシは大きなナメクジのような形をしていますが、「殻を持たない貝」ともいわれ、背中にかつて巻貝だったころの殻の名残を持っています。また、主に海藻を食べますが、その時「歯舌」という特別な歯を使って削り取るようにして食べます。この歯舌はサザエなどの巻貝にもあり、このような特徴からもアメフラシが貝の仲間であることがわかります。

さて、春から初夏にかけて磯に行くと、黄色からオレンジ色のひもを丸めたようなものがしおだまりで見られます。これは「うみぞうめん」といってアメフラシの卵塊です。このひも状の塊の中に数万の卵が入っており、2週間ほどで孵ります。孵化した幼生はしばらくプランクトン生活をし、やがて海底に着底します。

「うみぞうめん」を食べる習慣もあるのですが、現在「うみぞうめん」として食べられているのはアメフラシの卵ではなく紅藻の一種だそうです。

春から初夏にあたる今の時期、アメフラシに出会うには丁度良い季節です。磯に出かけたら、ぜひしおだまりをのぞいてみてください。運が良ければ「うみぞうめん」にも出会えるかもしれません。



アメフラシと「うみぞうめん」

水防情報を提供しています

東京都は、大雨、洪水、高潮等による水害や土砂災害の危険から、都民の命と暮らしを守るため、雨量や河川水位情報・防災情報を提供しています。

1 インターネット・携帯電話による情報提供を行っています

東京都では、都内に設置している約200箇所の雨量計・河川水位計の観測情報をリアルタイムで提供しています。
(※1)



水位グラフ

雨量グラフ

(※1)
○建設局ホームページの『東京都水防情報』からご覧になれます。

○アクセス方法
<パソコンの場合>

<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>

<携帯電話の場合>

<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/>



QRコード (スマートフォン)



QRコード (携帯)

2 警戒情報を発表しています

◆氾濫警戒情報

①洪水予報河川 について、気象庁の予想降雨量に基づいて河川水位の変動を予測し、河川が溢れる恐れのあるときに、また ②水位周知河川 について、河川水位があらかじめ設定した水位に達したときに発表します。

氾濫警戒情報が発表されたら、2階などの高い場所へ避難してください。特に、地下施設は水が流れ込むおそれもありますので、十分警戒してください。



①洪水予報河川

②水位周知河川

◆土砂災害警戒情報

大雨により土石流やがけ崩れの危険性が高まったと判断したときに発表します。土砂災害警戒情報が発表されたら、早めの避難を心がけてください。

これら警戒情報は東京都と気象庁が共同で発表(※2)しており、区市町村からの防災行政無線、電子メール等(※3)や、テレビ・ラジオ等を通じて皆様へお知らせします。対象地域にお住まいの皆様は、区市町村から発表される避難勧告などの情報に注意してください。

(※2)氾濫警戒情報の②は、東京都が単独で発表しています。

(※3)詳しくは、各区市町村にお問合せください。

3 ツイッターによる情報提供を行っています



大雨警報などの気象情報や氾濫警戒情報などの防災情報を発表にあわせツイートしています。地域の水害防止活動にご活用ください。

(※4)

(※4)

○アクセス方法
<アカウント名>

@tokyo_suibo (東京都水防Twitter)

<URL>

https://twitter.com/tokyo_suibo



QRコード (Twitter)

みなさんも、できることから行動しましょう

日頃からの備え

- 過去の浸水実績や浸水予想区域図(※5)により、お住まいの地域が水害に対してどの程度危険なのか、あらかじめ調べておきましょう。
- 地域の避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- 食料や飲料水、懐中電灯や携帯ラジオなどの非常用品や、避難時に持ち出す貴重品をまとめておきましょう。
- 家族との連絡手段を決めておきましょう。



雨が降り出したら

- テレビやインターネット・携帯端末などで最新の気象や災害に関する情報を確認してください。
- 周囲の状況に注意し、普段と異なる状況に気がついた場合には、直ちに安全な場所に避難してください。



(※5)
建設局のホームページからご覧になれます。

<インターネットアドレス>

過去の浸水被害

http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/suigai_kiroku/kako.htm

浸水予想区域図

http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/suigai_taisaku/index/menu02.htm

河川部防災課 TEL:03-5320-5431

問い合わせ先

(過去の浸水被害に関すること) 河川部計画課 TEL:03-5320-5425

(浸水予想区域図に関すること) 河川部計画課 TEL:03-5320-5414

~動物園の“かお”~

多摩動物公園 ライオンバス

ライオンバスは、1964年5月17日に運行を開始しました。以来、多くの方にご利用いただき、2014年2月1日に累計乗車人数が2,000万人に達しました!

運行開始から50周年を迎える今年一年、様々なイベントを行う予定です。



撮影日 2013年9月12日